

奄美地域におけるエダマメの4～5月出し栽培技術

エダマメの4～5月出し栽培は、1月下旬～2月下旬頃までに播種し、品種は「サヤムスメ」が有望で、被覆栽培により増収

背景・目的

- ・奄美地域では、大規模な畑地かんがい施設を整備中で、水利用による高収益な園芸品目の導入が期待
- ・エダマメは水利用により発芽安定と増収が期待でき、4～5月は市場単価が高い
- ・奄美地域におけるエダマメの4～5月出し栽培技術を確立する

成果の内容

- ・播種時期は、1月下旬～2月下旬頃までが良い(図1)
- ・品種は、莢色の退色が遅く収量の多い「サヤムスメ」が有望(データ略)
- ・べたがけ、またはポリトンネルの被覆栽培が多収で、資材代を差し引いた収益も多い(図2, 図3)

播種期	1月		2月		3月		4月		5月		6月		商品収量(kg/a)			粗収益 (千円/a)
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	R元	R2	平均		
1月下旬	●												57	59	58	45
2月下旬		●											68	79	74	52
3月下旬			●										65	54	60	27

1月下旬～2月下旬頃までの播種で、4～5月出しが可能

3月下旬播種では、6月収穫となり、粗収益が低下

注1) ●: 播種 ■: 収穫時期
2) 粗収益は、商品収量に実際の時期別契約単価をかけて、試算

図1 播種期毎の収穫時期と商品収量

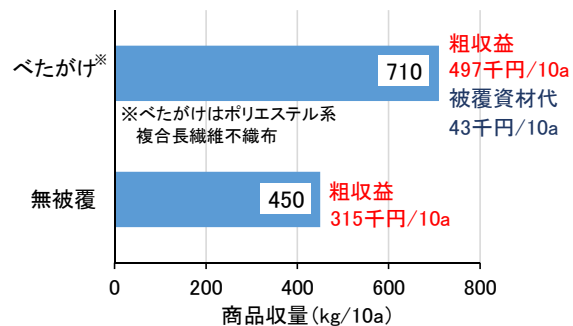


図2 べたがけと無被覆栽培の収量と粗収益(被覆資材代は耐用年数で割った1作当たりの金額)

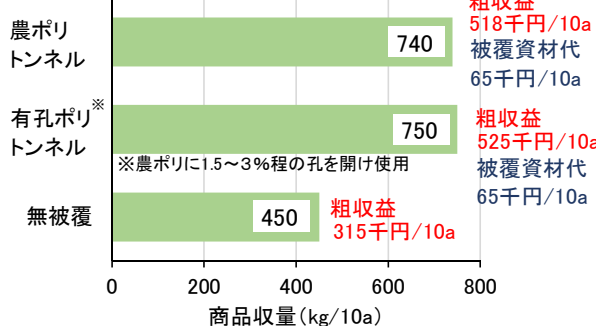


図3 トンネルと無被覆栽培の収量と粗収益(被覆資材代は耐用年数で割った1作当たりの金額)

期待される効果

- 国内の生産量が少なく、高単価期の出荷で、高収益が期待できる
- 奄美地域の新たな輸送園芸品目として有望



奄美の農業生産が拡大, 向上



収穫期のエダマメ

- 普及対象・範囲 奄美地域で畑かん水が利用可能な生産者

鹿児島県農業開発総合センター
徳之島支場園芸土壌研究室

(13)